

2018年度 水辺の自然再生共同シンポジウム

守ろう！世界農業遺産「大崎耕土」豊かな自然

—積極的活用と侵略的外来種の防除による里山・里地生態系の保全

期 日 2018年10月20日（土）9：30～17：00

会 場： 宮城県大崎合同庁舎 1F 大会議室（宮城県大崎市；新幹線古川駅から徒歩10分）

主 催： 水辺の自然再生共同シンポジウム実行委員会

（NPO法人シナイモツゴ郷の会、旧品井沼周辺ため池群自然再生協議会、
全国ブラックバス防除市民ネットワーク、ナマズのがっこう）

次 第

開会 9：30～ 総合座長 門間忠良（シナイモツゴ郷の会）

主催者挨拶 二宮景喜（シナイモツゴ郷の会）

来賓挨拶 伊藤康志（大崎市長）

第1部 講演 世界農業遺産「大崎耕土」認定と地域ぐるみの生態系保全活動

9：45～12：00 座長 佐藤弘樹（シナイモツゴ郷の会）

(1) 世界農業遺産がめざすもの

世界農業遺産認定と今後の展開 武元将忠（大崎市産業経済部）

(2) 豊かな自然を復元し長期保全するための取り組み

①世界農業遺産「大崎耕土」における生態系保全活動の役割 岩渕成紀（田んぼ）

②里山・里地水辺の自然を復元し活用する 高橋清孝（シナイモツゴ郷の会）

(3) 次世代への継承をめざす自然再生活動

①シナイモツゴを復元した里親小学校の取り組み 安住芳朗（シナイモツゴ郷の会）

②小学生による里地の小川生き物観察会 久保田龍二（シナイモツゴ郷の会）

(4) 自由討論

第2部 ポスター発表 12：30～14：00

(1) 地域ぐるみの保全活動—生き物ブランド米で豊かな自然を守り続ける農業者の活動

①シナイモツゴ郷の米でシナイモツゴを守る：吉田千代志（シナイモツゴ郷の米づくり手の会）

②ふゆみずたんぼ米で渡り鳥と共生する。（たじり穂波公社 西沢誠弘）

(2) 水辺環境の変化と生き物たちの盛衰

- ①消えた天然池沼-品井沼など仙台平野の干拓事業 三浦仁一 (シナイモツゴ郷の会)
- ②霞ヶ浦周辺の貝塚調査から見た太古の魚類相 阿部きよ子 (宍塚の自然と歴史の会)
- ③手賀沼におけるニホンウナギの盛衰 半沢裕子 (手賀沼水生研)
- ④品井沼明治大正期の漁業と現在の魚 鈴木光太郎 (シナイモツゴ郷の会)

(3) 豊かな自然を守る新技術と成果

- ①アメリカザリガニ連続捕獲装置の改良
: 高橋清孝・長谷川政智・久保田龍二・根元信一 (シナイモツゴ郷の会)
- ②アメリカザリガニ繁殖阻止ツールの開発: 長谷川政智・高橋清孝 (シナイモツゴ郷の会)
- ③アメリカザリガニの特産品化をめざして: 坂本 啓 (シナイモツゴ郷の会)
- ④アメリカザリガニを防除した池で復元したゼニタナゴ 秦 泰之 (シナイモツゴ郷の会)
- ⑤洞爺湖におけるウチダザリガニの防除と効果 室田欣弘 (UWクリーンレイク洞爺湖)
- ⑥魚の産卵・生育場を復元する水田魚道 三塚牧夫 (ナマズのがっこう)
- ⑦洪水防止 水田の「多機能落水柵」の改良 根元信一 (東北興商)

(4) 自由課題 (一般募集 10 課題)

第3部 講演 水辺の侵略的外来種の防除と成果 14:00~16:30

進行 久保田龍二(シナイモツゴ郷の会)

(1) 国家戦略 侵略的外来種防除の国家戦略

北橋義明 (環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室室長)

(2) 侵略的外来種防除の歴史と展望

- ①侵略的外来種防除と生態系保全 細谷和海 (近畿大学名誉教授・魚類学会会長)
- ②ブラックバス防除の歴史 小林 光 (全国ブラックバス防除市民ネットワーク事務局長)

(3) アメリカザリガニの防除と効果

- ①アメリカザリガニ連続捕獲装置による捕獲と効果:
高橋清孝・長谷川政智・久保田龍二 (シナイモツゴ郷の会)
- ②アメリカザリガニの繁殖抑制: 長谷川政智・高橋清孝 (シナイモツゴ郷の会)
- ③連続捕獲装置を用いたアメリカザリガニの低密度化の検討
~夕日寺健民自然園トンボ池(金沢市)での事例 工藤秀平・商 奕晨・
西川 潮 (金沢大学)・長谷政智・高橋清孝 (シナイモツゴ郷の会)
- ④連続捕獲装置を用いたアメリカザリガニの低密度化の検討
~都立光が丘公園(東京都)での事例 佐藤方博(生態工房)

第4部 総合討論 16:30~17:00

座長 半沢裕子 (手賀沼水生研)・高橋清孝 (シナイモツゴ郷の会)